

令和6年度 総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立西葛西小学校

校長名 森川 康一

名称:総合的な学習の時間

学校の教育目標	○考える子(進んで取り組み, よく考え, 表現する子供の育成)
	○心豊かな子(互いの人格を尊重し, 思いやりの心をもつ子供の育成)
	○たくましい子(困難に負けず, 最後までやりぬく, 心身共にたくましい子供の育成)

国が示す総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。

(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標

- 1 横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して問題解決を図る。
- 2 子供の気付きをもとにテーマを設定させ、課題解決学習できる資質や能力を育成する。
- 3 発表することを通して、自分の考えを深め、自分なりの学び方や考え方を身に付ける。
- 4 課題解決を通して主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育てる。
- 5 地域や家庭と連携を深め、身近な問題について自ら考え、自ら判断し行動しようとする意欲を高める。

育てようとする資質や能力及び態度

知識及び技能

第3・4学年

○体験や学習を通し、学習課題の見付け方を知り、学習計画を立てることができる。

○自分なりの方法で工夫しながら活動に取り組み、課題解決に向け、追究できる。

○教科等で身に付けた知識や技能を応用して、課題を解決することができる。

○図書資料やタブレット等を使って、新しい情報を集めたり、発見したりできる。

第5・6学年

○体験や学習を通し、主体的に学習課題を見付け、見直しをもって、学習計画を立てることができる。

○自分なりの方法で工夫しながら活動に取り組み、計画に沿って、課題解決に向け、追究できる。

○教科等で身に付けた知識や技能を応用して、課題を解決することができる。

○図書資料やタブレット等を使って、必要な情報を集め、活用できる。

思考力、判断力、表現力等

第3・4学年

○図や文章、言葉、および具体物を使って、自ら情報を発信することができる。

○新しく情報を集め、分かったことや発見したことを記録し、整理して伝えることができる。

第5・6学年

○文章や言葉、身近な情報機器等を利用して、自ら情報を発信することができる。

○情報を集め、取捨選択して整理したり、活用したりし、分かりやすく伝えることができる。

学びに向かう力、人間性等

第3・4学年

○話の内容を聞きとることができる。

○相手に分かりやすく話すことができる。

○友達と協力して調べたり、話し合ったりできる。

第5・6学年

○話の内容を正確に聞きとることができる。

○相手や場面を意識した発表や話し方ができる。

○友達と協力して調べたり、話し合ったりし、自分の考えにつなげることができる。

内容	学習対象	学習事項
第3学年	町のよさを知ろう 小松菜博士になろう 地域安全マップ	町の特徴やよさを調べる 江戸川区の特産品である小松菜について調べる 地域の安全な場所や設備、危険な場所を調べる
第4学年	心と心をつなぐ人～外国の世界をのぞいて～ ハザードマップについて考えよう 東京都の伝統工芸～見よ！匠の技を～	外国の国旗や文化、伝統について 水害とハザードマップについて 東京都の伝統工芸について
第5学年	守る命・広める防災 日本の伝統 雪国のくらしを調べよう	自然災害の種類や防ぎ方、対策の仕方 日本の伝統行事や伝統文化について 新潟県の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々
第6学年	世界文化遺産～日光を訪ねて～ 職業調べ～15年後の自分～ 感謝の気持ちを伝えよう	日光の自然や文化 職業調べ お世話になった人々に感謝の気持ちを伝える
第3～6学年	プログラミング教育 Scratchを体験・活用しよう	・繰り返し(第3学年) ・繰り返しや条件分岐(第4学年) ・繰り返しや条件分岐を用いて、ストーリー性のあるアニメーションづくり(第5・6学年)

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
・3～6年生では、防災に関するテーマを主として扱う。 ・3年生は地域。4年生は地域。5年生は伝統。6年生はキャリアを主なテーマとする。 ・学習発表会を節目とした単元構成を工夫する。	・ゲストティーチャーによる学習活動の充実。 ・教科との関連的な指導の重視。 ・協働的な学習活動の充実 ・個に応じた指導の工夫。	・地域教育力の効果的な運用 ・担任以外の教職員による支援体制。	・3観点にしぼる。 ・具体的な活動から、個人内評価の充実。 ・指導と評価の一体化の充実。 ・評価方法は学年末に記述式評価。